

モデル児童図書目録（上級）

—小学5・6年生に読んでほしい本—



福岡市総合図書館

はじめに

子どもたちは、生まれてから独り立ちするまでのおよそ 18 年の歳月の中で、さまざまなものを見聞きし、体感していくことで、その感性や考える力を磨き、変化の激しい社会に対応して生きていくための力を獲得していきます。その過程において、読書が与える影響はとても大きいものがあります。

しかしながら、日々出版される膨大な数の本の中から、子どもたちのその時期にあった本を選ぶことは、親にとっても図書館員にとっても頭を悩ませる難しい問題です。そこで福岡市総合図書館では、子どもたちの本を選ぶ目安として、「幼児用」「初級」「中級」「上級」と、子どもの対象年齢に応じて 4 段階に分けたモデル児童図書目録を刊行しております。

今回刊行します目録は、平成 8 年 6 月に刊行しましたモデル児童図書目録（上級）の改訂版で、多くの児童図書の中から、検討を重ね、92 点を選定し、収録したものです。今回収録された本は、どれも子どもたちにとって、人生をより深く生きる力を身につけるきっかけとなってくれることでしょう。

この目録の選定や紹介文の執筆に当たっては、長年、子どもたちへのおはなしや読み聞かせに携わってこられた、「福岡おはなしの会」、「ブックトーク 2001」の方々に、その培ってこられた経験と知識に基づきご協力をいただきました。

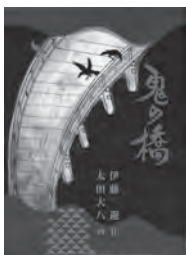
最後になりましたが、ご尽力いただいた上記 2 団体のボランティアの皆様には厚く御礼申し上げます。

平成 24 年 3 月

福岡市総合図書館長 中 沢 浩

凡 例

- 1 この目録は平成8年6月作成の、モデル児童図書目録(小学5・6年生用)を基として、福岡市総合図書館と「福岡おはなしの会」、「ブックトーク2001」が協力して選定した小学5・6年生用の図書92点をまとめたものです。
- 2 配列は日本十進分類法の順で、各区分内は書名の50音順です。
- 3 図書に関する記載事項は、書名、副書名、シリーズ名、著者名等(著者名、画家名、訳者名等)、出版社、出版年、福岡市総合図書館請求記号、ページ数、図書の大きさ、定価、原書名、原書の出版年の順にしています。上下巻など分冊されているもののページ数、図書の大きさ、定価については、刊行順に左から記載しています。
- 4 著者名等(著者名、画家名、訳者名等)の表示については、当該図書に記載されているものに従いました。
- 5 本体価格、入手の可否は、選定時のものによりましたので、その後の変更につきましては、ご了承ください。
- 6 巻末の著者等(著者名、画家名、訳者名等)の索引は、50音順に配列しています。ただし、同一人物で図書によって表示が違う場合は統一しています。



鬼の橋

伊藤 遊／作
太田 大八／画
福音館書店 1998年 913 頁
340P 21cm 1,400 円

平安時代、妹の死への罪悪感を抱えた貴族の子 小野篁は、井戸をのぞきこむうちあの世の入口の橋に行く。家族もなく、都で懸命に生きる少女 阿子那。人になりきれず苦しみながら都に住む鬼 非天丸。死後も都を守れという帝の命令により死者が渡る橋を渡れず、生と死の境に居続ける将軍 坂上田村麻呂。これらの人々の悲しみに触れて成長する篁の姿が丹念に描かれた物語。



風の又三郎

(宮沢賢治童話集 I)

宮沢 賢治／作
春日部 たすく／画
岩波書店 1963年 913 頁
330P 23cm 入手不可

さわやかな9月1日の朝、風がどうと鳴り赤毛の男の子が転校してきた。外国人のような姿をしたその子は高田三郎。子どもたちは彼の変った容姿と、何かをするたびに風がおこることから、伝説上の風の精「風の又三郎」ではないかと疑うのだった。

自然豊かな村での子どもたちと又三郎との交流が、印象的な擬音と共にいきいきと描かれる。表題作の他 17 篇を収める。



亀八

舟崎 靖子／著
かみや しん／絵
偕成社 1992年 913頁
236P 22cm 入手不可

面白くないことがあるとすぐにパンチを繰り返してしまういさむ。そんな彼をクラスメイトは誰も相手にしてくれない。ある日、学校からの帰り道でいさむは年をとったのら犬を拾い「亀八」と名前をつける。犬嫌いの母に「家では飼えない」と言われ、毎日学校へ連れて行くことにした。居場所のない孤独な少年が、年老いた犬の世話をし、互いに心を通わせることで、癒され、成長していく物語。



ガラスのうさぎ

高木 敏子／作
武部 本一郎／画
金の星社 新版 2000年 913頁
189P 22cm 1,100円

1945年、小学6年生の敏子は疎開先で東京大空襲を知る。父ともによろやく母と妹二人を捜しに家の焼け跡へ行くと、床の間にあったガラスのうさぎの置物が溶けてぐにやぐにやになっところがあった……。追いうちをかけるように、今度は父をも機銃掃射であつという間に失い、兄二人は特攻隊で行方不明。暗い絶望の中、それでも敏子は頑張って生きようと決意する。著者の実体験。



獣の奏者 1 鬮蛇編

上橋 菜穂子／作
講談社 2006年 913 ㇿ
319P 20cm 1,500 円

戦闘用の獣 鬮蛇を飼育する村に育ったエリン。獣ノ医術師だった母は、鬮蛇の死の責任を問われ処刑されてしまう。エリンは蜂飼いのジョウンに助けられ、彼との生活の中で生き物に深い興味を抱き、聖なる獣 王獣に出会った。探究心に従い、己の進む道を切り開いていくエリン。それは次第に、母が遺した言葉の意味をも明らかにしていくこととなる。「王獣編」へと続くシリーズ全4巻。



木かげの家の小人たち

いぬい とみこ／作
吉井 忠／画
福音館書店 1967年 913 ㇿ
276P 21cm 1,600 円

小さい人たちは永い間森山家の本の小部屋に隠れ住んでいた。毎日コップ一杯のミルクを貰い、人には見られず暮していた。ミルクを運ぶ仕事は森山家の親からゆりへと受けつがれて行く。しかし日本は第二次世界大戦へ。ゆりの家族もバラバラになりミルクを運ぶ事も不可能になった。小さい人たちの命を守ろうとする事で成長するゆりの姿が、平和の大切さを読者に考えさせるファンタジー。



古事記物語 (岩波少年文庫)

福永 武彦／作
岩波書店 新版 2000年 913コジ
291P 18cm 720円

八世紀に書かれた日本初の書物「古事記」を少年少女向けに読みやすく書き直したものの。スサノオノ命のおろち退治やイナバの白ウサギ、ヤマトタケルノ命の冒険など、日本民族の神話や伝説、古代天皇の英雄伝などが、多くの歌謡と共に収められている。

当時の人々の喜びや悲しみ、生活の様子が生き生きと描かれ、息づかいまで伝わってくるようだ。



少年たちの夏

横山 充男／作
村上 豊／絵
ポプラ社 2000年 913コ
207P 22cm 1,000円

四万十川のほとりにひらけた中村市に住む、小学6年生の弘治とまもる。運動会の前には足を速くするために馬ふんを踏んだり、図工の時間には好きな女の子を描いて騒いだり。そんな二人が、前の年転校してきた問題児の圭造と、けんかをしながらも徐々に仲良くなっていく。そして小学校最後の夏休み、3人はいかだを作って四万十川を下る計画をたてた。1964年夏の物語。



精霊の守り人 (偕成社ワンダーランド)

上橋 菜穂子／作
二木 真希子／絵
偕成社 1996年 913 ㍴
325P 22cm 1,500 円

女用心棒のバルサは、偶然新ヨゴ皇国の第二皇子チャグムの命を救い、彼の護衛を引き受けることになる。チャグムはその体内に水の守り手の卵を宿した「精霊の守り人」だった。そのために、父である帝に、そして卵をねらう怪物に命をねらわれていたのだった。

チャグムはバルサとその仲間たちとの生活や、失われた水の精霊の伝承の探求により、たくましい少年へと成長していく。



空色勾玉

荻原 規子／作
徳間書店 1996年 913 ㍴
366P 19cm 1,700 円

ともに国を生み、生命をはぐくんだ男女の神が、光と闇に分かれて争いつづける豊葦原の国。少女 狭也は闇の一族に生まれながらも光を愛し、光の御子 稚羽矢はその力ゆえに剣とともに幽閉される。

対立する光と闇の運命に翻弄されながらも、惹かれ合い、成長する二人を描く、日本の古代神話をモチーフにした壮大なファンタジー。



だれも知らない小さな国
(コロボックル物語 1)

佐藤 さとる／作

村上 勉／絵

講談社 新版 1985年 913 冊

223P 22cm 1,100 円

少年がひみつの小山でみかけた小人たち。その存在を信じ続けて大人になった少年が、再び出会い、小人たちの国を守っていく。コロボックルシリーズの一作目となる物語。小人たちが少しずつ自ら存在を主人公に知らせ、その距離感が緊張を生み、ドキドキさせる。大人になっても、心の奥に自分だけの小さな国を持ち続けられるような、かけがえのない作品。



天山の巫女ソニン 1 黄金の燕

菅野 雪虫／作

講談社 2006年 913 冊

255P 20cm 1,400 円

「夢見」の巫女としての才能を見込まれ天山で12年間修行してきたにもかかわらず、いきなり「見込み違い」として家族のもとに帰されたソニン。今度は思いがけない役割を担ってお城に召される。

運命に翻弄されながらも持ち前の明るさと素直さ、天山で身につけた知識で困難を乗り越え誠実に生きて行く姿が心地よい。

落ちこぼれの巫女ソニンの物語（全5巻）シリーズの第1作目。



トモ、ぼくは元気です

香坂 直／著
講談社 2006年 913頁
244P 20cm 1,300円

障がいのある兄トモにまつわることで自分の家をめちやくちやにした和樹は小学生最後の夏休みを関西の商店街にある祖父母の家で過ごすことになる。しかし世話焼き屋の夏美やその姉妹に否応なく関わることになってしまい、商店街対抗の金魚すくい大会に引っぱり出されてしまう。障がいのある兄弟を持つ子のリアルな気持ちと、兄弟に向ける愛情を明るく描く。



夏の庭-The Friends-

湯本 香樹実／作
徳間書店 2001年 913頁
226P 19cm 1,400円

山下、河辺、ぼくの3人は小学6年生の夏、死んだ人が見たいという好奇心からある一人暮らしのおじいさんを観察し始める。一日中ぼーっとしてもうじき死にそうなはずだったおじいさんは、なぜかだんだん元気になっていく。やがておじいさんと言葉を交わすうちに、3人とおじいさんとの関係に変化が……。

3人の少年たちにとって忘れられない夏の物語。



西の魔女が死んだ

梨木 香歩／著
小学館 1996年 913頁
205P 20cm 入手不可

不登校の中学生まいが、自然あふれる祖母の家で暮らした一月余りを描く。魔女の血を引く英国人の祖母のもと始めた魔女修行。一番大切なのは「自分で決めること」。早寝早起きの規則正しい生活や自然との触れ合い、祖母との温かい交流を経て、転校先で新しい生活を始める決意を固めるのだった。自らの悪意や不安に振り回されないように、自分と向き合いながら成長していく物語。



二分間の冒険

岡田 淳／著
太田 大八／絵
偕成社 1985年 913頁
237P 22cm 1,400円

6年生の悟は、校庭で黒猫「ダレカ」に出会い、不思議な世界へ入りこむ。そこには同級生たちがいるのだが、誰も悟のことを知らない。悟は、その中の一人かおりと共に、竜との知恵と力の戦いに挑むことになる。元の世界に戻るには、「一番たしかなもの」を見つけなければならないのだが……。奇妙な老人たち、竜とのなぞかけ、そして戦いと、多くの謎とテンポの速い展開で読者をひきこむ。



肥後の石工 (岩波少年文庫)

今西 祐行／作
岩波書店 2001年 913頁
240P 18cm 680円

江戸時代末期、肥後（熊本県）に実在した石工頭 岩永三五郎と石橋造りに関わった人々の物語。「人を渡す橋、岸と岸とをつなぐ美しい橋」を作りたいと願う三五郎の指導のもと、石工・大工・庄屋・百姓たちが、それぞれの悲しみや憎しみをこえ力を合わせて、後世に残る石橋を築いた。武士による圧政の犠牲となった当時の人々の苦しみと、石工の技術に人生をかけた職人の熱意が、胸にせまる。



冒険者たち ガンバと十五ひきの仲間

斎藤 惇夫／作
藪内 正幸／画
岩波書店 1982年 913頁
378P 23cm 1,800円

町で平凡な毎日を過ごしていたドブネズミのガンバ。ある日助けを求めてきた島ネズミに出会い、イタチに襲われ絶滅の危機にある彼らを救うため、15匹の仲間と命がけの冒険に旅立つ。悪魔的強さのイタチ「ノロイ」を相手に、悩み、ぶつかり、くじけそうになりながらも強い意志で立ち向かっていくガンバたち。知恵を出し合い、力を合わせて困難を乗り越えていく、感動の動物ファンタジー。



ぼくのお姉さん

丘 修三／著
かみや しん／絵
偕成社 1986年 913枚
182P 22cm 1,200円

ダウン症のため、しゃべることも数をかぞえることも満足にできない17歳のお姉ちゃんをもつ弟の話。ほかに、障がいのある子とその子にまつわる人々との出来事を描いた短編集。どの物語も、障がい者と周りの人たちの日常、それぞれの振舞いや抱いている思いが、ストレートに、淡々と語られている。作品の訴える力は、創作というより現場レポートに近い強さがあり、読む者の心を打つ。



ぼくらのサイターの夏

笹生 陽子／作
やまだ ないと／絵
講談社 1996年 913枚
164P 22cm 入手不可

ぼくは、階段から飛び降りるゲームで手首をねんざするという失敗と共に夏休みを迎えた。罰として四週間のプール掃除を言いつけられたが、一緒にやることになった栗田は「カテイホウカイ。ハハ、イエデ。デッカイヤシキニ、ネズミウジャウジャ。」という噂の持ち主。そしてぼくの家にも友達には話せない秘密が……。

友達や家族について考え成長する等身大の小学生の物語。



ユウキ

伊藤 遊／作

上出 慎也／画

福音館書店 2003年 913 頁

204P 20cm 1,300 円

転勤族が多い札幌市の小学校。主人公のケイタが入学以来友達になった転校生の名は「祐基」「悠樹」「勇毅」。もしかしたら今度の転校生も……。と期待したケイタの前に現れたのは不思議少女の優希。優希との交流を通して忘れかけていた3人のユウキとの友情がケイタの中で大切なものになっていった。転校生と、それを迎える子どもたちの人を思う気持ちにあふれた物語。



ゆびぬき小路の秘密

(福音館文庫)

小風 さち／作

小野 かおる／画

福音館書店 2008年 913 頁

400P 17cm 800 円

バートラム少年が「ゆびぬき小路」で買ってもらった古着には、一つだけ異なるボタンが付いていた。仕立屋のおばあさんが5着の服に一つずつ付けたそのボタンを集めるうちに、バートラムはボタンが持つ不思議な力によって度々過去へタイムスリップする。

ボタンに関わる人たちの過去と現在を巧妙に絡ませ、時の移り変わり、「今ここに自分が存在すること」の奇縁を描くファンタジー。



ルチアさん

高樓 方子／作
出久根 育／絵
フレーベル館 2003年 913 効
162P 19cm 入手不可

スウとルウルウの姉妹が住む「たそがれ屋敷」に新しい家政婦のルチアさんがやってきた。二人には、遠い船の旅に出ている父からもらった水色の宝石のようにルチアさんが光って見えた。不思議に思った二人はルチアさんの跡を追い、娘のボビーと出会う。話を聞いたボビーは、ルチアさんと家族の秘密に迫っていく。

日常生活の中で遠い場所や幸福について思いを馳せる作品。



半分のふるさと 私が日本へ来たときのこと

イ サンクム／著
帆足 次郎／画
福音館書店 1993年 916 頁
429P 22cm 1,800 円

韓国が日本の植民地だったころ、著者は朝鮮人の両親のもとに、日本で生まれた。「血統のルーツは両親の祖国に、生活のルーツは日本に」育つなかで体験したことが、子どもの目線で綴られている。辛い時代に誇りを失わず、明るくたくましく生きる人々の姿は、時代が変わっても通じる指針となり、少女の気持ちに寄り添うことで深まる温かい共感、日韓間の理解を進める助けとなるだろう。



アラビアン・ナイト 上・下 (岩波少年文庫)

ディクソン／編
中野 好夫／訳
岩波書店 新版 2001年 92ア
311P 346P 18cm 各 720円
Fairy tales from the Arabian Nights(1951)

「千夜一夜物語」の名でも知られる「アラビアン・ナイト」は、アラビアで語り継がれた多数の物語を集めた物語集。この本は、その中より児童向けに名高い16編を収録。当時のアラビアの日常生活や空想世界が織り込まれた異国情緒に溢れた不思議な物語の数々。シンドバッドは波乱の冒険を繰り返し、アラジン巨大な魔人を召し抱え、アリババは“開けごま”と呪文を唱える。



チベットのものいう鳥

田 海燕／編
君島 久子／訳
岩波書店 1977年 92チ
290P 23cm 2,400円
金玉鳳凰(1961)

王子は、英明な国王となるため知恵を授けてくれる鳳凰を捕まえるに行く。しかし王子が口をきくと鳳凰は飛び去ってしまう。王子は鳳凰の語る話について「それから？」と尋ねる。王子は、鳳凰を捕まえては逃がし逃がしては捕まえ幾つもの物語を聞くうちに、沈着で強靱な性格をそなえていく。鳳凰の語る一つ一つの話が次々につながれ一遍の大きな物語をなす連環体形式のチベットの民話である。



ネギをうえた人 朝鮮民話選
(岩波少年文庫)

金 素雲／編
岩波書店 新版 2001年 92ネ
253P 18cm 680円

人がネギを食べるようになってから人を人が食べなくなった話、ナンキン虫の酒盛り、仙女と結婚した木こりの話、タバコを吸うゆかいなトラの話など、古い昔から口伝えにつたわった朝鮮の民話が33編、知恵や知識が進歩しても、人が人である限り昔ながらの心を失うことなく、今も語り続けられ、笑いをさそい空想を楽しめる。人と動物が渾然一体となった広がりのある世界が描かれている。



もちろん返事をまっています

ガリラ・ロンフェデル・アマット／作
母袋 夏生／訳
安藤 由紀／絵
岩崎書店 1999年 92ア
149P 20cm 1,400円

明るくて元気な11歳の女の子ノアは、養護学校に通う車イスの少年ドゥディと文通を始める。とても率直で楽しい手紙のやりとりをするうち、二人は互いに魅かれ合い大切な存在になっていく。やがて、ノアはドゥディに直接会いたいと言い出す。自分の姿をノアに見られたくないドゥディは悩み苦しむ。本音でぶつかるノアに、次第に心を開いていくドゥディ……。二人の友情は感動的だ。



やぎと少年

I. B. シンガー／作
M. センダック／絵
工藤 幸雄／訳
岩波書店 1979年 92シ
133P 23cm 入手不可

ノーベル文学賞受賞作家が子ども向けに書いた初めての作品で、七つの短編からなる。ヘルムの長老やシュレミールといった、とんまで滑稽だが憎めない登場人物や、ユダヤの人々にとって大切なハヌカの祭りなどが随所に出てきて、作者シンガーのユダヤ文化に対する誇りと愛着心がうかがわれる。まるでお話を聞いているように楽しめる。



聊斎志異 (岩波少年文庫)

蒲 松齡／作
立間 祥介／編訳
岩波書店 新版 2000年 92ブ
282P 18cm 680円

百姓が市場で梨を売っていた。道士が一つ恵んでくれというが、百姓は断った。見かねた人が買ってやると、道士は皆に梨をごちそうするといい、百姓をこらしめるために不思議なまじないを使う「道士と梨の木」。その他にも幽霊と酒を酌み交し友情を深める話やカラスと結婚する話、美女の皮を被った鬼の話など、中国の清時代の怪しく不思議な物語が31篇収録されている。



赤毛のアン

(完訳赤毛のアンシリーズ1)

L・M・モンゴメリー／著

掛川 恭子／訳

講談社 1990年 93㍊

469P 21cm 2,000円

Anne of Green Gables (1908)

孤児院から男の子を引き取ることにした老兄妹マシューとマリラのもとへやってきたのは、やせっぽちで赤毛でおしゃべりな少女アンだった。森と湖の村アヴォンリーの美しい自然の中で、夢見がちで多感なアンは、おおぜいの友達に囲まれ、失敗をしながらもマリラ達のあたたかい愛情に支えられて新しい生活になじんでいく。

おなじみアンシリーズの第一作。



あしながおじさん

(福音館文庫)

J・ウェブスター／作・画

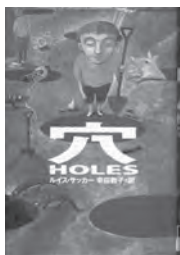
坪井 郁美／訳

福音館書店 2004年 93㍊

256P 17cm 700円

Daddy - Long - Legs (1912)

孤児のジュディーは孤児院の評議員のひとりに作文を認められ、大学へ出してもらうことになる。条件は彼に毎月手紙を出すこと。正体を明かさないうちに「あしながおじさん」と名付け、大学での生活をこと細かに書き送る。数年後、恋愛問題に悩む彼女は彼に会いに行くことになる。さて、憧れのあしながおじさんの正体は……



穴

ルイス・サッカードラマ
幸田 敦子／訳
講談社 1999年 93巻
309P 20cm 1,600円
Holes(1998)

まずい時にまずいところにいたために、スタンリーは無実の罪で砂漠の真ん中にある更生施設へ入れられてしまう。そこでは少年たちが毎日一つずつ大きな穴を掘らされていた。その目的は所長が言う「人間形成のため」ではなかった。

穴を掘る本当の目的とは？砂漠の施設から決死の脱出を図ったスタンリーは友を守ることができるのか？友情と冒険と成長の物語。



あらしの前 (岩波少年文庫)

ドラ・ド・ヨング／作
吉野 源三郎／訳
岩波書店 新版 2008年 93巻
272P 18cm 680円
The level land(1943)

オランダの村に暮らす、お医者さん一家オールト家の物語。村人に尊敬される父、愛情深い母のもと6人の子どもたちは幸福な日々を送っている。しかしそんな家族に「あらし」が訪れる。中立を守ってきたオランダにもついにドイツ軍が攻め込んできたのだ。第二次世界大戦下結束して生きようとする家族の姿が感動的。

続編に「あらしのあと」がある。



大きな森の小さな家 (インガルス一家の物語1)

ローラ・インガルス・ワイルダー／作
恩地 三保子／訳
ガース・ウィリアムズ／画
福音館書店 1972年 93頁
254P 21cm 1,600円
Little house in the big woods (1932)

1870年代、アメリカ中西部の厳しい大自然の中、自分たちの手で生活を築きあげていった一家の一年間を、少女ローラの目を通していきいきと描く。家族の絆の大切さ、温かさを改めて感じさせてくれる物語である。開拓生活を過ごした著者の自伝的長編シリーズの第一作目。続編に「大草原の小さな家」、「プラム・クリークの土手で」、「シルバー・レイクの岸辺で」、「農場の少年」がある。



弟の戦争

ロバート・ウェストール／作
原田 勝／訳
徳間書店 1995年 93頁
172P 19cm 1,200円
Gulf (1992)

湾岸戦争が始まった夏のある日、トムの弟アンディが突然奇妙な言葉をしゃべり、自分はイラクの少年兵だと言い出した。大声で叫んだり、怒りと憎しみの表情で何事か口走ったりしていたが、やがてイラクへの空爆が始まると共に状態はさらに悪化していく。

イラク兵がのりうつった弟の言動を通して、トムは、テレビ画面にうつる戦争の向こう側にある現実、敵地での恐怖や苦しみを知る。



おやすみなさいトムさん

ミシェル・マゴリアン／作
中村 妙子／訳
評論社 1991年 93マ
414P 20cm 2,000円
Goodnight Mister Tom(1981)

第二次大戦下、ロンドンから田舎へ疎開してきた少年ウィリアム。母親の虐待で身も心も傷を負った彼は、引き取られたトム老人のもとで、友達をつくり、打ちこめることを見つけて成長していく。そしてその姿が、妻をなくしてから人と交わることを避けていたトムの心も、あたためていくことになる。戦争の影を色濃く描きながら、未来への希望を強く印象づける作品。



風にのってきたメアリー・ポピンズ (岩波少年文庫)

P.L.トラヴァース／作
林 容吉／訳
岩波書店 新版 2000年 93ト
295P 18cm 720円
Mary Poppins(1934)

子どもの世話係としてバンクス家にやってきたメアリー・ポピンズは、ちょっと風変わり。でも子どもたちはあっという間にメアリーのとりこになってしまう。なぜなら、彼女は不思議な力を持っていて、動物と話をすることができたり、一瞬にして世界を回ることができたり、彼女といるとわくわくするような冒険ができるからだ。古きイギリスの雰囲気が味わえる物語。続編3冊あり。



銀のロバ

ソーニャ・ハートネット／著
野沢 佳織／訳
主婦の友社 2006年 93頁
190P 20cm 1,500円
The silver donkey(2004)

舞台は第一次世界大戦中のフランス。港に近い森の中で、二人の幼い姉妹は目の見えない脱走兵を見つける。彼は、重病の弟に会うためイギリス海峡をわたりたいのだと言う。何とか彼を助けたいと考えた姉妹は、毎日こっそり食料を届ける。妹のココは兵士が幸運のお守りとして持っていた銀のロバに心ひかれ、兵士はロバにまつわる物語を語り始める。



クリスマス・キャロル (岩波少年文庫)

ディケンズ／作
脇 明子／訳
岩波書店 2001年 93頁
216P 18cm 640円
A Christmas carol(1843)

スクルージ老人は冷酷な守銭奴。クリスマスの前夜も祝う心など微塵もなく、金勘定ばかり。ところが、ひとり帰宅した彼の許へかつての仕事仲間マーレイの幽霊が現われ、3人の幽霊の訪れを告げる。そして、過去、現在、未来の幽霊に導かれ、スクルージの見たものは……。ロンドンの下町の心あたたまるクリスマスの物語。



グリーン・ノウの子どもたち
(グリーン・ノウ物語1)

L. M. ボストン／作

亀井 俊介／訳

評論社 1972年 93ホ

254P 21cm 1,500円

The children of Green Knowe (1954)

オールドノウ大おばあさんの住む古い屋敷に住むことになった少年トーリー。グリーン・ノウとよばれるこの屋敷には、不思議なことが次々とおこり、やがてトーリーは300年前にこの屋敷に住んでいた3人の子どもたちと楽しい交わりを経験する。

作者の息子による挿絵が物語の雰囲気をととてもよく伝えている。ほか、続編5冊。



クローディアの秘密
(岩波少年文庫)

E. L. カニグズバーグ／作

松永 ふみ子／訳

岩波書店 新版 2000年 93カ

242P 18cm 680円

From the mixed-up files of Mrs. Basil
E. Frankweiler (1967)

誰だって時には家出を考える。優等生で良い子のクローディアは11歳も終わりのある日、弟を相棒に家出した。行き先は何とメトロポリタン美術館。16世紀の豪華なベッド。噴水での水浴。ミケランジェロの作品といわれる天使の像の秘密を探り出した二人は……。

大人になりかけた少女の内面が愛情深く描かれている。



コウノトリと六人の子どもたち

M・ディヤング／作

遠藤 寿子／訳

岩波書店 1967年 93ページ

356P 23cm 2,500円

The wheel on the school (1954)

コウノトリが屋根に巣を作ると幸運がくる。そんな言い伝えがあるオランダの小さな漁村の物語。「なぜ村に鳥が巣をかけなくなったの」リーナの疑問から、6人の小学生のコウノトリ呼び戻し作戦が始まる。巣に使う車輪を捜して起きる数々の事件が、ユーモアと温かい筆使いで描かれていて、心地よい感動をよぶ。



氷の花たば (岩波少年文庫)

アリソン・アトリー／作

石井 桃子／訳

中川 李枝子／訳

岩波書店 新版 2004年 93ページ

212P 18cm 入手不可

雪道に迷った父親の命を救った謎の男は、お礼に炉辺のバスケットの中のを要求する。家に帰った父親がバスケットの中のをのぞくと、そこには愛娘が眠っていた。翌日になると男との約束は夢の中の出来事のように思えてきた父親だったが、時が経ち、美しく成長した娘のもとに不思議な贈り物が届けられるようになる。

表題作『氷の花たば』ほか、六つの不思議な物語。



こちら『ランドリー新聞』編集部

アンドリュー・クレメンツ／作
田中 奈津子／訳
伊東 美貴／絵
講談社 2002年 93ク
189P 22cm 1,500円
The Landry News(1999)

カーラ・ランドリーは転校してきて六ヶ月。毎日教室のすみで一人過ごす目立たない女の子だ。新聞作りが好きで、『ランドリー新聞』を学校で作りはじめるが、ある時、周囲を巻き込んだ騒動を起こしてしまう。

表現の自由と責任について、カーラとクラスメイトと先生が考えながら学んでいく姿を描いた物語。



サルたちのおくりもの

ウィルソン・ラウルズ／作
堀川祥子モイネヘン／訳
評論社 1984年 93ラ
356P 21cm 入手不可
Summer of the monkeys(1976)

14歳の少年にある日訪れた、サル獲り大作戦。賞金のかかったサルを捕まえて小馬と銃を手に入れようとし、あくまでもがんばる。願いが叶うといわれる「妖精の輪」を見つけた少年が願った内容とは……。サル獲りの結果は……。

豊かな自然描写とユーモアのある表現が楽しめる物語。



シャーロック・ホームズまだらのひも
(岩波少年文庫)

コナン・ドイル／作

林 克己／訳

岩波書店 新版 2000年 93ド

331P 18cm 720円

ロンドンとその周辺で起きた不可解な事件を名探偵ホームズが友人ワトソンとともに鮮やかに解き明かす。

死んだ姉が残した謎の言葉、どこからかきこえる不気味な口笛…。ある古い屋敷で起きた恐ろしい事件の顛末を描いた「まだらのひも」。赤毛の成人男性を募集する求人広告の真の目的が明かされる「赤毛連盟」など、読み応えたっぷりの6編を収録。



ジャングル・ブック
(福音館古典童話シリーズ)

R・キップリング／作

木島 始／訳

石川 勇／画

福音館書店 1979年 93キ

482P 21cm 2,300円

All the Mowgli stories (1895)

インドのジャングルでオオカミに育てられた少年モーグリ。ヒョウやニシキヘビ、クマなどにジャングルの掟を学び成長する。やがてジャングルの主人となり動物たちを導く。

人間であるがゆえに悩みながらも、新しく生きる道を選択する少年の姿と、それを見守る動物たちとがいきいきと描写されている。



ジンゴ・ジャンゴの冒険旅行

S. フライシュマン／作

渡邊 了介／訳

佐竹 美保／画

あかね書房 1995年 93フ

239P 21cm 1,300円

Jingo Django(1971)

煙突掃除で子どもたちをこき使うスカーロック将軍が捜していたのは、宝の地図が彫られたクジラの歯だった！そのクジラの歯を偶然手に入れた孤児の少年ジンゴは、ジンゴの父親だと名乗る怪しい男ピーコック・ヘムロック・ジョーンズ氏と共に宝のあるメキシコへ向かう。果たしてスカーロック将軍より先に宝を見つけ出せるのか？波乱にとんだ冒険物語。



太陽の戦士

(岩波少年文庫)

ローズマリ・サトクリフ／作

猪熊 葉子／訳

岩波書店 2005年 93サ

395P 18cm 760円

Warrior scarlet(1958)

緋色—それは部族の戦士のみ身にまとうことが許された色。そして、戦士と認められるためには、オオカミ殺しを成し遂げなければならない。右腕がきかない少年ドレムは、祖父キャスランに戦士にはなれないだろうと言われた。けれども、ドレムは自分の力で戦士の緋色を手に入れることを誓い、困難との戦いの日々が始まった。

青銅器時代のブリテン島を舞台に少年の挫折と成長を描いた物語。



宝島 (福音館文庫)

R. L. スティーブソン／作
坂井 晴彦／訳
寺島 龍一／画
福音館書店 2002年 93ス
476P 17cm 850円
Treasure Island(1883)

ジム・ホーキンス少年は「船長」から宝島の地図を手に入れ、リブジー先生、トリローニさんらとともに宝探しに出かける。途中、乗組員のジョン・シルバーの反乱により船は乗っ取られてしまう。島での交戦、船を取り戻す秘密作戦、次から次に巻き起こる冒険に息をつく間もなく一気に読むことができる。出版から120年を経過しても、決して色褪せることのない、冒険小説の名作。



種をまく人

ポール・フライシュマン／著
片岡 しのぶ／訳
あすなろ書房 1998年 93フ
95P 20cm 1,200円
Seedfolks(1997)

生ゴミや古タイヤでいっぱいの空地に少女が豆の種をまいた。物語の語り手はそれを窓からみていた女性へ、次に彼女の階下に住む学校用務員へ、さらに南米移民の少年へ、といった具合に次から次へと移りかわってゆく。人種も年齢も境遇も異なるアパートの住人がそれぞれの理由からこの空地に関わっていき、やがて空地はみごとな畑へと変わってゆく。



父さんの納屋

アヴィ／作
谷口 由美子／訳
偕成社 1997年 93ア
158P 20cm 入手不可
The barn(1994)

19世紀アメリカの開拓地に生きる家族の物語。

病の床にある父親への贈り物として、9歳の少年ベンは姉や兄と一緒に納屋を建てはじめる。「ぼくたちは絶対に納屋を建てなければならない。」元気になってほしいという願いは父親に届くのか？そして完成した納屋を前に、子どもたちが胸に抱く思いとは……。



時の旅人

アリスン・アトリー／著
小野 章／訳
評論社 1980年 93ア
324P 21cm 1,600円
Traveller in time(1939)

空想家で病弱な少女ペネロピーは、厳しい冬の間、イギリスの古い農園で過ごすことになる。そして、ある日秘密の戸口を通りぬけ、別の時代に入りこんでしまう。そこは、時を超え300年前のエリザベス女王時代だった。もとの時代に戻れなくなるかもしれない不安の中で、過去に住む人たちに魅かれていくペネロピー。物語は、歴史を折りまぜながら展開していく。



とぶ船 上・下
(岩波少年文庫)

ヒルダ・ルイス／作

石井 桃子／訳

岩波書店 新版 2006年 93ル
232P 267P 18cm 640円 680円

The ship that flew(1939)

うす暗い小さな店で、ピーターは古い小さな船を手に入れる。それは実は魔法の船だった！そこから、ピーターら4人のきょうだいの大冒険の日々が始まる。遠くエジプトへ旅したり、昔のイギリスへタイムトラベルしたり、時には神話の世界アースガルドへも！

誰しものが持つ輝く子ども時代を、冒険を交えて描く物語。



トム・ソーヤーの冒険 上・下
(岩波少年文庫)

マーク・トウェイン／作

石井 桃子／訳

岩波書店 新版 2001年 93ト
262P 254P 18cm 各 680円

The adventures of Tom Sawyer (1876)

アメリカ南部ミシシッピ河畔の小さな村を舞台にわんぱくなトム・ソーヤーが、浮浪児ハックルベリ・フィンや学校の友達ジョー・ハーパーと愉快的冒険を繰り広げる。家出をして何日も海賊ごっこをしたり、夜中の墓地で殺人事件を目撃したり……。時に突拍子もない行動で町中の大人たちを大騒ぎさせながらも、自然の中で自由にたくましく遊ぶ子どもたちの姿が生き生きと描かれている。



トムは真夜中の庭で

フィリパ・ピアス／作
高杉 一郎／訳
岩波書店 1967年 93p
304P 23cm 1,900円
Tom's midnight garden(1958)

おぼのアパートに預けられ、退屈していたトムは、真夜中に大時計が13の鐘を打つのを聞く。外に出ると、そこには昼間はなかったはずの美しい庭園が広がっていた。そこで出会った不思議な少女ハティと友達になり、思いがけなくいきいきとした「時」を楽しむことができたトムは……。夢と現実を交えながら「時間」を超えてふれあう魂が、幻想的に描かれている。



のっぽのサラ

パトリシア・マクラ克蘭／作
金原 瑞人／訳
中村 悦子／絵
徳間書店 2003年 93p
148P 19cm 1,300円
Sarah, plain and tall(1985)

大草原に住むアンナとケイレブ姉弟のところに、パパの奥さん候補としてやってきたサラはのっぽで不細工。でも二人は、歌うことが好きで、何より海が好きな彼女が大好きになる。はたしてサラは二人の新しいママになってくれるだろうか？ 新しく家族を迎える側と、家族になろうとする側の、期待と不安が入り混じった気持ちがやさしく描かれている。



バドの扉がひらくとき

クリストファー・ポール・カーティス／作
前沢 明枝／訳
徳間書店 2003年 93カ
270P 19cm 1,600円
Bud, not Buddy (1999)

大恐慌時代のアメリカ。10歳のバドはママが死んでからずっとひとりぼっち。ママが大事にしていたジャズバンド公演のチラシ、このバンドのリーダーがぼくのお父さんだ！そう直感したバドは、お父さんを探しに行くことにした。きびしい社会を知恵と勇気で乗り越えていく黒人少年の物語。暗い世相を背景にしながら、軽快な語り口と主人公の明るさは心に希望を与えてくれる。



母からの伝言 刺しゅう画に込めた思い

エステル・ニセンタール・クリニッツ／作
バニース・スタインハート／作
片岡 しのぶ／訳
光村教育図書 2007年 93カ
63P 28cm 1,900円
Memories of survival (2005)

第二次大戦下、12歳の少女エステルの住むポーランドの小さな村にもナチスが入って来た。徐々にユダヤ人としての暮らしも尊厳も奪われて行く。ついに家族とともに収容所に送られる日、彼女は妹と二人だけで逃げ延びる。戦後、娘たちに繰り返し語ったその体験を数十年かけて素朴だが精密でいきいきとした刺しゅう画にした。娘が説明文を添えた、母から子どもたちへの「伝言」の絵本である。



歯みがきつくって億万長者 やさしくわかる経済の話

ジーン・メルル／作

岡本 さゆり／訳

平野 恵理子／絵

偕成社 1997年 93頁

174P 22cm 1,300円

The toothpaste millionaire(1972)

12歳の少年ルーファスは市販の歯みがきは値段が高いと思って自分で作ってみた。これを1セントの儲けで売ったら、大あたり。友達を巻き込んで会社を作り社長となった彼は億万長者に。

材料費と儲けの計算、株と配当金、商品開発、価格競争など、楽しみながら起業、会社経営、経済のしくみが理解できる軽快な読み物。



ヒットラーのむすめ

ジャッキー・フレンチ／作

さくま ゆみこ／訳

鈴木出版 2004年 93頁

221P 22cm 1,400円

Hitler's daughter(1999)

スクールバスを待つ間に、少女アンナが始めたお話ゲーム。少年マークは、ドイツの独裁者ヒットラーにハイジというむすめがいたというお話に引き込まれていく。もし、自分がヒットラーのこどもだったら戦争を止めることができただろうか？もし、自分のまわりの人が悪いことをしていたら自分はどうするだろうか？



秘密の花園 (福音館文庫)

F・H・バーネット／作

猪熊 葉子／訳

堀内 誠一／画

福音館書店 2003年 93p

456P 17cm 850円

The secret garden(1911)

両親の死により、父の赴任地インドから遠く離れた故国イギリスへと帰ってきた少女メリー。引き取られた叔父の家は、見わたす限り続く荒野の果てに立つ広大な古い屋敷だった。そこには、高い塀で囲まれ鍵がかけられた、悲しいわくつきの「秘密の庭」があった。荒廃した庭を美しい花園として甦えらせていくなかで、頑なだったメリーの閉ざされた心にも変化が訪れる。



不思議を売る男

ジェラルディン・マコックラン／作

金原 瑞人／訳

佐竹 美保／絵

偕成社 1998年 93p

333P 22cm 1,500円

A pack of lies(1988)

エイルサの母親の古道具屋で得体の知れない男が働くことになった。彼は店の客にまことしやかに古道具の由来を語ってきかせるのだが、その話のおもしろいこと、不思議なこと。客はその話にすっかり心を奪われて、皆品物を買ってゆく。彼の話はロマンスからホラーと実に多種多様。店の客だけでなく私たちがたつぷりとその世界にひたることができる。



ふしぎの国のアリス (福音館文庫)

ルイス・キャロル／作

生野 幸吉／訳

ジョン・テニエル／画

福音館書店 2004年 93キ

206P 17cm 600円

Alice's adventures in Wonderland (1865)

チョッキを着て時計を持ったウサギの後を追って、アリスが飛びこんだ穴の中は、奇妙きてれつな世界だった。何か飲んだり食べたりするたびに、アリスの体は伸びたり縮んだり。動物たちのおししゃべりは果てしもなく脱線する。あげくの果てに愛てこな裁判に巻き込まれて……。

自由奔放な子どもの心そのままの「ふしぎなお話」である。



ベグル・チームの作戦 (岩波少年文庫)

E.L. カニグズバーグ／作

松永 ふみ子／訳

岩波書店 新版 2006年 93カ

227P 18cm 640円

About the B'nai Bagles (1969)

マーク少年は、母親が野球チームの監督を引き受けてきたことから、息子であり選手であるという複雑な立場に立たされる。母親は熱心に、しかしクールに、わが子にも選手たちにも接してチームを盛り立てていく。マークが、親友やガールフレンドやチームメイトとの間に起こるさまざまな出来事を通じて成長していく姿を微妙な心理と共に描く。



ぼく、カギをのんじやった！

(もう、ジョーイったら!)

ジャック・ギヤントス／作

前沢 明枝／訳

徳間書店 2007年 93頁

205P 19cm 1,400円

Joey Pigza swallowed the key(1998)

じっとしてられない、自分の指を鉛筆削りにかけちゃう、家の鍵を飲みこんじゃう、そんなカゲキな小学4年生の男の子ジョーイ。

彼が、周囲の愛情と支援を受けながら、少しずつ自分の気持ちや行動を制御する道を見つけていく物語。

「本当はどうにかしていい子でいたい！」のに自分が制御できない子どもの気持ちを、明るく楽しく描く。



ホビットの冒険

J. R. R. トールキン／作

瀬田 貞二／訳

寺島 竜一／絵

岩波書店 改版 1983年 93頁

483P 23cm 2,520円

The Hobbit(1951)

小人族ホビットのビルボ・バギンズは、魔法使いのガンダルフとドワーフ族の訪問をうけ、黄金の宝をとりもどす冒険の旅に加わる。心地よい故郷をあとにしたビルボは山のぼけものトルルやいんけんて悪らつな竜にあたり困難な旅を続ける。しかしビルボは知恵と勇気をもって解決、仲間を助け目的を果たす大ファンタジー物語。



マチルダはちいさな大天才

ロアルド・ダール／作
宮下 嶺夫／訳
クエンティン・ブレイク／絵
評論社 1991年 93ダ
332P 21cm 入手不可
Matilda(1988)

感受性が強くて頭がいいマチルダは、4才ちょっとで図書館の本を読破してしまった。ところが、両親は娘のことを「かさぶた」くらいにしか思っていない。マチルダは、どなりちらしてばかりの親たちや横暴な女校長に対して仕返しをすることにした。

抑圧的な大人達に抵抗し、頭を使ってユーモラスに報復する「大天才」少女の痛快な物語。



まぼろしの小さい犬

フィリパ・ピアス／作
猪熊 葉子／訳
岩波書店 1989年 93ピ
241P 22cm 1,800円
A dog so small(1962)

少年ベンは5人きょうだいの三番目だが、どこか孤独だった。ベンは自分のちいさな犬が欲しいと思いつめるが家族の理解や住宅の事情のためになかなかかなえられない。代わりに祖父母は誕生日に小さな犬の絵を送ってくれる。絵の中の子犬はベンの「まぼろしの犬」になっていく。ベンの心のかっとうと成長が描きつくされた作品。



ムギと王さま (ファージョン作品集3)

ファージョン／作
石井 桃子／訳
岩波書店 1971年 93P
470P 20cm 2,600円
The little bookroom(1955)

金色に輝く麦畑を持つ父の方が王より金持ちだと言ったため、麦畑は焼き払われ、少年の手に一握りの麦が残っただけだった。しかしその麦をまき、実ったころ「王の命は麦よりも長い！」と叫んだ王は死に、一緒に葬られた麦は数千年ののち再び芽生えた、という表題作ほか、さまざまな味わい深い作品が26篇収められている。



モギちいさな焼きもの師

リンダ・スー・パーク／著
片岡 しのぶ／訳
あすなろ書房 2003年 93P
199P 20cm 1,300円
A single shard(2001)

中国の皇帝にまでその美しさを知られるチュルポの村の高麗青磁。村の橋の下でトゥルミじいさんと暮らす孤児の少年モギは、あるきっかけで村でも指折りの老焼きもの師ミンの下働きになる。

ある時、宮中御用達の焼きもの師を指名する王様の使者が村にやってきた。ミンの腕を信じるモギは、そのまっすぐな気持ちで、ミンの焼きものを認めてもらうために奔走する。



床下の小人たち
(小人の冒険シリーズ1)

メアリー・ノートン／作
林 容吉／訳
岩波書店 改版 2010年 93ノ
256P 21cm 2,200円
The borrowers (1952)

もしも、あなたの身のまわりで物がなくなるとしたら、例えば安全ピン、それから針や鉛筆やヘアピンなど。それはあなたの家に借り暮らしの小人がいるのかも……。イギリスの古い家の床下でひっそりと暮らすアリエッティの家族が、病氣療養に来た男の子に見られてからの不安とさまざまな冒険が描かれワクワク心躍る物語。



妖精にさらわれた男の子
アイルランドの昔話

W. B. イェイツ／作
N. フィリップ／編
山内 玲子／訳
岩波書店 1999年 93イ
261P 22cm 入手不可
Fairy tales of Ireland (1990)

アイルランドを代表する詩人イェイツが各地で聞き集めた昔話や妖精物語から選んだ19編の物語と、イェイツ自作の詩1編を収めたものである。

アイルランドの人々にとって身近な存在である妖精や魔女、巨人たち。彼らと人間がくり広げる様々な不思議な物語を楽しむことができる。



ライオンと魔女 (ナルニア国ものがたり 1)

C. S. ルイス／作
瀬田 貞二／訳
岩波書店 改版 1986年 93ル
248P 21cm 1,700円
The lion, the witch and the wardrobe (1950)

「ナルニア国物語」の最初に発表されたもの。白い魔女がナルニア国をクリスマスのない永遠の冬にしてしまう。ライオン王アスランとケア・パラベルの四つの王座につく四人が魔女をほろぼすという、いい伝えの守られる時がついにやって来た。衣装だんすからナルニア国へ行ったルーシィたちの冒険物語である。続1～7まで。



ロビンソン・クルーソー (福音館文庫)

D. デフォー／作
坂井 晴彦／訳
B. ピカール／画
福音館書店 2003年 93デ
445P 17cm 800円
The life and strange surprising adventures
of Robinson Crusoe of York, mariner (1719)

イギリス生まれのロビンソンは世界中を放浪したいという思いから船乗りになる。航海の末に財をなし、安定した暮らしをしていたが冒険心から再び航海へ。ところが嵐にあい、ひとり無人島にたどりつく。道具もなく仲間もないひとりぼっちの島で、ロビンソンはどのように28年間生き抜いたか。

およそ300年前に書かれ、今なお読み継がれる名作。



ロビン・フッドのゆかいな冒険 1・2 (岩波少年文庫)

ハワード・パイル／作

村山 知義／訳

村山 亜土／訳

岩波書店 新版 2002年 93p

264P 275P 18cm 680円 入手不可

The merry adventures of Robin Hood (1883)

イングランドで一番の弓の名手ロビン・フッドは、おたずね者となりシャーウッドの森に野武士の仲間たちの隊長として住む。郡長のどんな罠にも、奇知の策略で難関を突破してしまう。そして、欲張りな金持ちが、貧しい人々から地代や罰金を取り立て苦しめるのを懲らしめ、奪い取られた物は取り返して来る痛快な物語。



ローワンと魔法の地図

(リンの谷のローワン1)

エミリー・ロッダ／作

さくま ゆみこ／訳

佐竹 美保／絵

あすなる書房 2002年 93p

216P 21cm 1,300円

Rowan of Rin (1993)

村の生活を支える川が干上がった。原因をつきとめるため、勇者6人が竜の住む山へ向かった。臆病者のローワンもいやいや加わった。彼しか魔法がかけられた地図を読めなかったからだ。途中の困難に次々と脱落者が出る。最も勇敢な心を持つ者とは誰なのか？冒険ファンタジー「リンの谷のローワン」シリーズの1巻目。どの巻も謎解きと個性豊かな登場人物で読者をぐいぐいひっぱってゆく。



あの年の春は早くきた

C. ネストリンガー／作
上田 真而子／訳
岩波書店 1984年 94ネ
282P 22cm 入手不可
Maikäfer, flieg! (1973)

1945年3月のウィーンの街。空襲で住む家を焼かれ、大きな屋敷の管理人となる一家。やがてドイツ軍が撤退し、かわりに侵入してきたソ連軍の大隊長の宿舎となる屋敷。家にはドイツ軍人だった父がいるのに。価値観の転換期に、何が大事なのか自分で考え、奔放に行動する少女に脱帽させられる。作者の原点といえる作品。



王への手紙 上・下 (岩波少年文庫)

トンケ・ドラフト／作
西村 由美／訳
岩波書店 2005年 94ト
409P 371P 18cm 800円 760円
De brief voor de koning (1962)

騎士見習いティウリは、騎士になるための試練の最中に、ひとりの老人から助けを求められる。ティウリはその老人を助けるため、試練を放棄し、一通の手紙をウナーヴェン王に届けるための旅に出る。長い旅の中、親しい友との出会い、手紙を狙う刺客などの様々な苦難を乗り越えて、彼は本当の騎士となる。



クラバート

オトフリート=プロイスラー／作
ヘルベルト=ホルツィング／絵
中村 浩三／訳
偕成社 改訂版 1986年 94p
383P 20cm 1,600円
Krabat (1971)

ドイツ、ラウジッツ地方のクラバート伝説が素材になっている。少年クラバートはコーゼル湿地の水車場に見習いとして入った。そこで邪悪な魔法に巻き込まれるが、自分の意思と、誠実な友情の助力、ひとりの娘の愛によって、自分を救うことに成功する。登場人物が生き生きと書かれていて、人間にとって何が大切かを考えさせる物語。



黒い兄弟 上・下

リザ・テツナー／著
酒寄 進一／訳
あすなろ書房 2002年 94p
359P 407P 22cm 各1,800円
Die schwarzen Brüder (1941)

1830年頃のスイスとイタリアでの実際の記録をモデルに生まれた作品。貧しさゆえに身を売られ、煙突掃除夫として働かされる少年たち。太っては煙突に入れなくなるからとろくに食事も与えられない。飢えと寒さと病に苦しむ彼らはやがて秘かに結束して支えあう。主人公ジョルジョは親友の死をのりこえ、仲間とともに生きのびていく。



第八森の子どもたち (福音館文庫)

エルス・ペルフロム／作

野坂 悦子／訳

ペーター・ファン・ストラーテン／画

福音館書店 2007年 94p

381P 17cm 750円

De kinderen van het achtste woud (1977)

第二次世界大戦末期のオランダ。11歳の少女ノーチェは、住んでいた町をドイツ軍に追われ父とふたり人里離れた農家クラブヘクに身を置かせてもらう。平常心を失わず困っている人に手を差し伸べるおやじさんおかみさん、戦時下でも楽しみを見つけ出す子どもたち。ノーチェの目線で自然や農家の暮らしぶり日常がそのまま描き出され、戦争とそこに生きる人々の喜び悲しみが浮かび上がる。



冷たい心臓 ハウフ童話集 (福音館古典童話シリーズ)

ヴィルヘルム・ハウフ／作

乾 侑美子／訳

T. ヴェーバー／ほか画

福音館書店 2001年 94p

669P 21cm 2,500円

Märchen の抄訳(1826)

黒森に住む炭焼きペーターは、貧しくても穏やかな生活をおくっていた。あるきっかけで、彼はガラスの小人から三つの願いをかなえてもらう約束をとりつけたが、最後の願いを残したまま、悪魔にそそのかされて自分の心臓とひきかえに富と石の心臓を受け取ってしまう。表題作「冷たい心臓」のほか、「隊商」など空想と現実が交錯するハウフの三つの童話集が一冊にまとめられている。



飛ぶ教室 (岩波少年文庫)

エーリヒ・ケストナー／作

池田 香代子／訳

岩波書店 2006年 94ヶ

254P 18cm 680円

Das fliegende Klassenzimmer (1933)

キルヒベルク寄宿学校のクリスマス集会で、劇「飛ぶ教室」を上演することになる。その舞台稽古の最中に、実業学校生による襲撃をはじめ様々な事件が起こるが、個性豊かな生徒たちが知恵と力を合わせて解決し、劇の上演を成功に導いていく。舎監の正義先生や親友の禁煙先生にも助けられ、少年たちは成長していく。



どろぼうの神さま

コルネーリア・フンケ／著

細井 直子／訳

WAVE出版 2002年 947

500P 20cm 1,800円

Herr der Diebe (1999)

預けられた伯母の家から逃れてヴェネツィアにやって来た兄弟。二人と共に廃墟となった映画館に住む3人の浮浪児たち。彼らを養う、どろぼうの神様スキピオ。子どもだけの楽しい世界は、やがて兄弟を追う探偵の出現で脅かされる。そこへ、彼らに大金が入る大仕事が舞い込み、物語は意外な結末へ。個性的な登場人物と次々に起こる事件。果して、どろぼうの神様の正体は？



ハイジ 上・下 (福音館文庫)

J・シュペーリ／作

矢川 澄子／訳

パウル・ハイ／画

福音館書店 2003年 94ス

301P 218P 17cm 700円 600円

Heidi(1880)

アルプスの大自然の中で、健やかに成長していく孤児の幼女ハイジの明朗闊達な物語。変わり者の祖父にあずけられるが、山羊番の少年ペーターと親しくなり祖父の心をやわらげる。やがて病身で脚の立たない金持ちの少女クララの相手役としてフランクフルトへ行くが、周囲の人々の心をもとらえて、ついにクララを立ち上がらせる。



モモ

ミヒャエル・エンデ／作

大島 かおり／訳

岩波書店 1976年 94エ

360P 22cm 1,700円

Momo(1973)

小さな円形劇場の廃墟で、まわりの人々と幸せに暮らしていたモモ。しかし灰色の男たちの出現により、その小さな幸せが壊されていく。灰色の男たちは、人間から時間を奪い、モモから大切な友達を奪っていった。モモは時間の国へ行く。時間をつかさどるマイスター・ホラ、亀のカシオペアと協力して灰色の男たちと戦い、奪われた時間を取り戻す。不思議な不思議なお話。



青い鳥

(岩波少年文庫)

メーテルリンク／作
末松 氷海子／訳
岩波書店 2004年 95メ
253P 18cm 680円
L'oiseau bleu(1909)

チルチルとミチルは、魔法使いにもらった不思議な帽子の力で、犬や猫、光やパンの精などと共に、幸せの青い鳥を探す旅に出る。思い出の国では祖父母に再会し、森では木々や動物たちからの攻撃をうけ、未来の国ではこれから生まれてくる子どもたちと出会う。はたして青い鳥はどこにいるのか？本当の幸せとは？



二年間の休暇

(福音館古典童話シリーズ)

J・ベルヌ／作
朝倉 剛／訳
太田 大八／イラストレーション
福音館書店 1968年 95ゲ
525P 21cm 2,300円
Deux ans de vacances(1888)

15人の少年を乗せたスクーターが、荒れ狂った海上を漂っていた。おとなはひとりもいなかった。国籍の違いから起こる偏見や反目を乗り越えて、団結し、さまざまな苦しみにあい、冒険を重ねながら、生存のために敢然と挑む少年たちが描かれている。

この物語は「十五少年漂流記」という訳でも知られている。



おじいちゃんの桜の木

アンジェラ・ナネッティ／作

アンナ・バルブツソ／絵

エレナ・バルブツソ／絵

長野 徹／訳

小峰書店 2002年 97ナ

175P 22cm 1,400円

Mio nonno era un ciliegio(1998)

トニーノは、田舎に住むオッタビアーノおじいちゃんが大好きだった。変わり者だが自由で陽気なおじいちゃんと過ごした楽しい日々。そばにはいつも、おじいちゃんが植えた桜の木があった。ところが、おじいちゃんの死後、その桜の木が切り倒されることに…。

老いと死、家庭の中のいさかい、そして家族が絆をとり戻していく様子が、少年の目を通して生き生きと描かれている。



ギリシア神話

石井 桃子／編・訳

富山 妙子／画

のら書店 2000年 99キ

341P 21cm 2,000円

数千年もの遠い昔に古代ギリシア人が生み出し、そして語り継がれてきたギリシア神話。本作は、「ヘラクレスの十二のぼうけん」、「トロイア戦争」、「ダイダロスとイカロス」など、24の物語を収録。

古代の神々や英雄と呼ばれる人々の織りなす悲喜劇が、丁寧かつ美しい筆致で描かれている。

書名索引

<あ>

- 青い鳥 47
赤毛のアン 18
あしながおじさん 18
穴 19
あの年の春は早くきた 42
あらしの前 19
アラビアン・ナイト 15
王への手紙 42
大きな森の小さな家 20
おじいちゃんの桜の木 48
弟の戦争 20
鬼の橋 3
おやすみなさいトムさん 21

<か>

- 風のにってきたメアリー・ポピンズ ... 21
風の又三郎 3
亀八 4
ガラスのうさぎ 4
ギリシア神話 48
銀のロバ 22
クラバート 43
クリスマス・キャロル 22
グリーン・ノウの子どもたち 23
黒い兄弟 43
クローディアの秘密 23
獣の奏者 1 闘蛇編 5
コウノトリと六人の子どもたち ... 24

- 氷の花たば 24
木かげの家の小人たち 5
古事記物語 6
こちら『ランドリー新聞』編集部 ... 25

<さ>

- サルたちのおくりもの 25
シャーロック・ホームズ まだらのひも ... 26
ジャングル・ブック 26
少年たちの夏 6
ジンゴ・ジャンゴの冒険旅行 ... 27
精霊の守り人 7
空色勾玉 7

<た>

- 第八森の子どもたち 44
太陽の戦士 27
宝島 28
種をまく人 28
だれも知らない小さな国 8
チベットのものいう鳥 15
冷たい心臓 44
天山の巫女ソニン 1 黄金の燕 ... 8
父さんの納屋 29
時の旅人 29
飛ぶ教室 45
とぶ船 30
トム・ソーヤーの冒険 30
トムは真夜中の庭で 31
トモ、ぼくは元気です 9
どろぼうの神さま 45

<な>

夏の庭-The Friends-	9
西の魔女が死んだ	10
二年間の休暇	47
二分間の冒険	10
ネギをうえた人	16
のっぽのサラ	31

<は>

ハイジ	46
バドの扉がひらくとき	32
母からの伝言	32
歯みがきつくて億万長者	33
半分のふるさと	14
肥後の石工	11
ヒットラーのむすめ	33
秘密の花園	34
不思議を売る男	34
ふしぎの国のアリス	35
ベーグル・チームの作戦	35
冒険者たち	11
ぼく、カギをのんじやった！	36
ぼくのお姉さん	12
ぼくらのサイターの夏	12
ホビットの冒険	36

<ま>

マチルダはちいさな大天才	37
まぼろしの小さい犬	37
ムギと王さま	38
モギちいさな焼きもの師	38

もちろん返事をまっけます	16
モモ	46

<や>

やぎと少年	17
ユウキ	13
床下の小人たち	39
ゆびぬき小路の秘密	13
妖精にさらわれた男の子	39

<ら>

ライオンと魔女	40
聊斎志異	17
ルチアさん	14
ロビンソン・クルーソー	40
ロビン・フッドのゆかいな冒険	41
ローワンと魔法の地図	41

著者名等索引

<あ>

アヴィ	29
朝倉 剛	47
アトリー, アリスン	24, 29
アミット, ガリラ・ロンフェデル	16
安藤 由紀	16
イ サンクム	14
イエイツ, W. B.	39
池田 香代子	45
石井 桃子	24, 30, 38, 48
石川 勇	26
伊東 美貴	25
伊藤 遊	3, 13
いぬい とみこ	5
乾 侑美子	44
猪熊 葉子	27, 34, 37
今西 祐行	11
ウィリアムズ, ガース	20
ウェストール, ロバート	20
上田 真而子	42
ヴェーバー, T.	44
上橋 菜穂子	5, 7
ウェブスター, J.	18
エンデ, ミヒャエル	46
遠藤 寿子	24
大島 かおり	46
太田 大八	3, 10, 47
丘 修三	12
岡田 淳	10

岡本 さゆり	33
荻原 規子	7
小野 章	29
小野 かおる	13
恩地 三保子	20

<か>

掛川 恭子	18
春日部 たすく	3
片岡 しのぶ	28, 32, 38
カーティス, クリストファー・ポール	32
カニグズバーグ, E. L.	23, 35
金原 瑞人	31, 34
上出 慎也	13
かみや しん	4, 12
亀井 俊介	23
木島 始	26
キップリング, R.	26
君島 久子	15
金 素雲	16
キャロル, ルイス	35
ギヤントス, ジャック	36
工藤 幸雄	17
クリニツ, エスター・ニセンタール	32
クレメンツ, アンドリユュー	25
ケストナー, エーリヒ	45
香坂 直	9
幸田 敦子	19
小風 さち	13

<さ>

斎藤 惇夫	11
坂井 晴彦	28, 40
酒寄 進一	43
さくま ゆみこ	33, 41
笹生 陽子	12
佐竹 美保	27, 34, 41
サッカー, ルイス	19
佐藤 さとる	8
サトクリフ, ローズマリ	27
シュピーリ, J.	46
生野 幸吉	35
シンガー, I. B.	17
末松 氷海子	47
菅野 雪虫	8
スタインハート, バニース	32
スティーブンソン, R. L.	28
ストラーター, ペーター・ファン	44
瀬田 貞二	36, 40
センダック, M.	17

<た>

高木 敏子	4
高杉 一郎	31
高橋 方子	14
武部 本一郎	4
立間 祥介	17
田中 奈津子	25
谷口 由美子	29
ダール, ロアルド	37
坪井 郁美	18

ディクソン	15
ディケンズ	22
ディヤング, M.	24
出久根 育	14
テツナー, リザ	43
テニエル, ジョン	35
デフォー, D.	40
寺島 竜一	28, 36
田 海燕	15
ドイル, コナン	26
トウエイン, マーク	30
富山 妙子	48
トラヴァース, P. L.	21
ドラフト, トンケ	42
トールキン, J. R. R.	36

<な>

中川 李枝子	24
長野 徹	48
中野 好夫	15
中村 悦子	31
中村 浩三	43
中村 妙子	21
梨木 香歩	10
ナネットィ, アンジェラ	48
西村 由美	42
ネストリンガー, C.	42
野坂 悦子	44
野沢 佳織	22
ノートン, メアリー	39

<は>

ハイ, パウル	46
パイル, ハワード	41
ハウフ, ヴィルヘルム	44
パーク, リンダ・スー	38
ハートネット, ソーニャ	22
バーネット, F. H.	34
林 克己	26
林 容吉	21, 39
原田 勝	20
バルブツソ, アンナ	48
バルブツソ, エレナ	48
ピアス, フィリパ	31, 37
ピカール, B.	40
平野 恵理子	33
蒲 松齡	17
ファージョン	38
フィリップ, N.	39
福永 武彦	6
二木 真希子	7
舟崎 靖子	4
フライシュマン, S.	27
フライシュマン, ポール	28
ブレイク, クエンティン	37
フレンチ, ジャッキー	33
プロイスラー, オトフリート	43
フンケ, コルネーリア	45
ベルヌ, J.	47
ベルフロム, エルス	44
帆足 次郎	14
ボストン, L. M.	23

細井 直子	45
堀内 誠一	34
堀川 祥子 モイネヘン	25
ホルツィング, ヘルベルト	43

<ま>

前沢 明枝	32, 36
マクラクラン, バトリシア	31
マコックラン, ジェラルディン	34
マゴリアン, ミシェル	21
松永 ふみ子	23, 35
宮沢 賢治	3
宮下 嶺夫	37
村上 勉	8
村上 豊	6
村山 亜土	41
村山 知義	41
メーテルリンク	47
メリル, ジーン	33
母袋 夏生	16
モンゴメリー, L. M.	18

<や>

矢川 澄子	46
藪内 正幸	11
やまだ ないと	12
山内 玲子	39
湯本 香樹実	9
横山 充男	6
吉井 忠	5
吉野 源三郎	19

ヨング, ドラ・ド 19

<ら>

ラウルズ, ウィルソン 25

ルイス, C. S. 40

ルイス, ヒルダ 30

ロッド, エミリー 41

<わ>

ワイルダー, ローラ・インガルス 20

脇 明子 22

渡邊 了介 27

<選定・執筆>

福岡おはなしの会
ブックトーク 2001
福岡市総合図書館

<表紙絵>

楠本 久美 (福岡おはなしの会)

モデル児童図書目録 (上級)

—小学5・6年生に読んでほしい本—

平成 24 年 3 月発行

編集・発行 福岡市総合図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3 丁目 7-1

TEL 092-852-0600 FAX 092-852-0609

<http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>

印刷 有限会社 アドプリ

この印刷物は再生紙を利用しています

